

広報

# とめ

## 火伏せの伝統行事 わらは火難除けのお守りに

「国指定重要無形民俗文化財・米川の水かぶり（2/6）」

MARCH 2009

3

No.95

### 主な内容

- ◎ 学校統合「今一つになり新しい歴史が始まる」
- ◎ 青少年海外派遣事業「感動の海外体験記」
- ◎ プラスチック製キャップは資源ごみとして収集します
- ◎ 水道水の水質検査結果
- ◎ 男女共同参画社会の実現に向けて
- ◎ 9町トピックス
- ◎ 市民の広場
- ◎ 市からのお知らせ・暮らしの情報



「文化をになう喜びの、希望も高くすこやかに」と校歌の3番に歌われるように、善王寺の地域の文化の中心として、また心のよりどころとして親しまれ、愛されてきた善王寺小学校も、平成21年3月をもって桜岡小学校との統合が行われ、『登米市立米山東小学校』として再出発をすることとなりました。

これからも、善王寺の地で育った子どもたちが、自分のふるさとに誇りを持ち、力強く健やかに歩んでいってくださることと確信しています。



善王寺小学校  
若生 充行 校長

### ふるさとに誇りを持って

P T A 活動や学校行事を振り返ってみると、民謡クラブの活動、善王寺夏祭りへの参加、農業体験学習などさまざまな行事がありました。わたしも、多くの行事に参加することによって、先生がたから児童に対しての指導の方法や愛情の注ぎ方などを少しは学べたように思います。

閉校はしますが、善王寺地区の皆さんに支えられ、多くの児童がより良い学校生活と学校教育の中で過ごせたことが、皆さんの心の中につつまでも残るように願います。



善王寺小学校 P T A  
岩瀨 昌隆 会長

### 学校への思いを忘れずに



豊澤 奈緒美さん  
善王寺小 6年

### 少し寂しいけど

思い出がたくさんつまった学校がなくなり、もうこの校舎で遊ぶことができないと思うと少し寂しいです。下級生には、米山東小の児童として、多くの友だちをつくり、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。



小野寺 和人君  
善王寺小 5年

### 6年生として頑張りたい

新しい学校では、勉強のことや友だちができるか心配ですが、たくさんの友だちをつくりたいです。今年が6年生なので、最上級生として下級生の手本になるよう、いろいろな面で頑張りたいと思います。



みんなで教科書を朗読 (善王寺小学校)

# 今、一つになり新しい歴史が始まる 善王寺小学校、桜岡小学校が統合

市では、学校規模の適正化と教育環境の向上を目指して「登米市学校統合構想」を策定し、適正な学校統合を進めています。

善王寺・桜岡両小学校についても、保護者や地域の人たちから広く意見を聞き、児童数の減少や適正な学校規模などについて、多くの協議を重ねた結果、より良い教育環境の整備を図るため、統合し1つの学校にすることが決まりました。

長い歴史の終わりは新しい歴史の始まりでもあり、4月からは「善王寺小学校」と「桜岡小学校」が統合し「米山東小学校」として新たな歴史をスタートさせます。

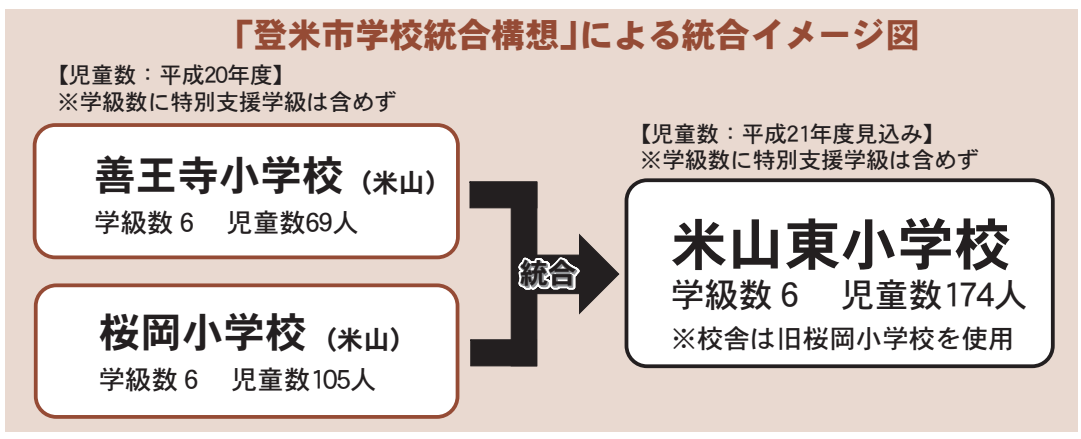
今月号では、統合によって136年にわたる学校の歴史に幕を閉じ、長年慣れ親しんだ校舎に別れを告げることになる「善王寺小学校」の歩みをたどってみます。



▲農業体験学習 ▲新校舎の完成を祝って ▲完全給食の開始 ▲90周年学芸会 ▲神楽体操 ▲住民に協力をもらったの校舎移動

### 善王寺小の沿革

明治6年 (1873)	桜岡小学校と連合し、桜岡長源寺に学校開設
同 年	豊原明氏宅に桜岡小学校善王寺支校開設
明治13年 (1880)	三島八十郎氏宅に学校移転
明治15年 (1882)	善王寺初等科小学校として独立
明治18年 (1885)	中新田に新校舎落成
明治22年 (1889)	吉田尋常小学校善王寺分教場と称す
明治25年 (1892)	善王寺尋常小学校となる
昭和3年 (1928)	石神圃に校舎移転
昭和16年 (1941)	善王寺国民学校と改称
昭和22年 (1947)	新学制(6・3制)により善王寺小学校に改称
昭和29年 (1954)	創立80周年記念校歌制定発表
昭和30年 (1955)	学校給食(A型) 完全給食開始
昭和32年 (1957)	町村合併により米山町立善王寺小学校となる
昭和43年 (1968)	プール落成
昭和47年 (1972)	学校給食優良校として文部大臣より表彰
昭和48年 (1973)	校章制定・屋体落成
昭和56年 (1981)	創立100周年記念式典・新校舎落成
昭和62年 (1987)	新校舎落成
昭和62年 (1987)	善王寺小子ども神楽開設
平成5年 (1993)	創立120周年記念式典
平成7年 (1995)	善王寺子ども民謡クラブ開設
平成12年 (2000)	県健康推進校として県教育委員会より表彰
平成17年 (2005)	町村合併により登米市立善王寺小学校と改称
平成20年 (2008)	桜岡小・善王寺小統合第1回準備委員会開催
平成21年 (2009)	閉校記念式典挙行



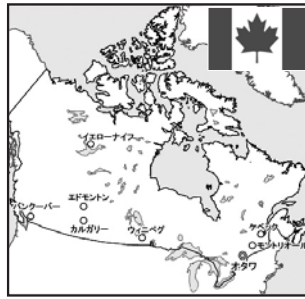


## カナダ Canada

【日程】平成20年10月24日（金）  
～31日（金）

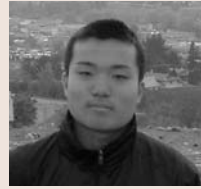
【派遣団員数】市内中学生12人

【訪問都市】バンクーバー、バーノンほか



### 「気持ちを言葉で伝えることの大切さ」

佐藤 元晴さん（佐沼中2年）



「You're welcome」…「どういたしまして」わたしはカナダでの研修で、何回この言葉を耳にしたことでしょうか。わたしが参加したカナダ研修では、主にバンクーバーとバーノンで

研修しました。バンクーバーでは、登米市に縁のある『及川甚三郎』さんの『及川島』などを見学し、移民の皆さんの苦労と功績を勉強しました。夜には外出し、実際に店で買い物をするという体験もしました。最初は緊張しましたが、生の英語にも慣れ、スムーズに買い物ことができました。バーノンでは、カラマルカ・セカンダリー・スクール、日本でいう中高一貫校を訪問し、生徒の皆さんと一緒に英語の授業やカボチャの収穫などを体験しました。わたしのホストファミリーはとても明るく、すぐ打ち解けることができました。わたしは、バーノンでのホームステイを通して「Thank you（ありがとう）」と「You're welcome（どういたしまして）」をきちんと伝えることの大切さを学びました。これからの生活にカナダで学んだことを生かし、感謝の気持ちを忘れずにいたいと思います。



- 1]バーノン市を訪れ市長さんを表敬訪問
- 2]ハロウィーン祭でのカボチャのカービング
- 3]カラマルカ・セカンダリー・スクールに記念品を贈呈



▲オールドリッジ・ハイスクールを訪問【オーストラリア】



▲フレーザー河畔の『及甚記念碑』前で【カナダ】

## 各国の思い出を胸いっぱい詰め込んで 感動の海外体験記

市では、「青少年海外派遣事業」を通して、諸外国の人たちとの相互理解と交流を深め、次代を担う国際感覚豊かな青少年を育成することを目指しています。平成20年度は、ドイツ、カナダ、オーストラリア、アメリカの4カ国へ市内の中高生44人を派遣し、現地の生徒との交流やホームステイなどさまざまな体験をし、多くのことを学んできました。

※アメリカについては、3月下旬に派遣となります。

※21年度の募集は、広報とめ5月号でお知らせします。

【問い合わせ】教育委員会生涯学習課 ☎0220(34)2698



▲ベルリンのシンボル「ブランデンブルグ門」前で【ドイツ】

### 「オーストラリアの素晴らしい8日間」

菅原 栄理佳さん（南方中2年）



オーストラリアで過ごした8日間は、わたしにとって忘れられない思い出になりました。メリバラでのホームステイや学校訪問、シドニー観光を通して、学ぶことがたくさん

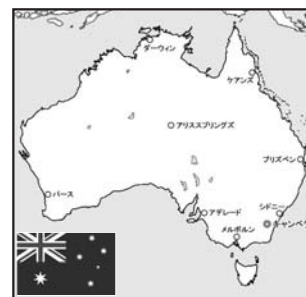
ありました。日本で生活する8日間とは比べものにならない、素晴らしい体験でした。ホームステイではホストファミリーとのコミュニケーションが不安でしたが、とても優しく温かい歓迎を受け、お別れするときは本当に名残惜しかったです。英語を話す機会にも恵まれ、とてもいい勉強になりました。学校訪問では、国際交流について理解を深め、日本の文化や生活環境、学習の仕方の違いについても知ることができました。シドニーでは、ボンダイビーチやワイルドライフパーク、ブルーマウンテン国立公園などを見学し、動物と触れ合ったり海や山など自然の雄大さに感動したり、思い出をしっかりと心に焼き付けて帰ってきました。今回の貴重な体験を、これからの学校生活に生かしていきたいと思っています。今後も、語学学習に力を入れていきたいと強く思った研修でもありました。

## オーストラリア Australia

【日程】平成20年11月26日（水）  
～12月3日（水）

【派遣団員数】市内中学生12人

【訪問都市】メリバラ、ブリスベン、シドニーほか



- 1]オールドリッジ・ハイスクールの対面式では英語で自己紹介
- 2]オールドリッジ・ハイスクール校長先生から記念品
- 3]クラフトコテージでアボリジナルアートを体験

### 「ドイツで感じたこと、学んだこと」

星 尚之さん（新田中2年）



「まだ帰りたくない。もっといたい」これは、ドイツ研修最終日に僕がずっと言っていた言葉でした。「もっといたい」という気持ちは当然でした。見るものすべてが新鮮で、

見学場所に行くたびに感激していたからです。中でも印象に残っているのは、ベルリンの壁です。この壁がドイツを二つに分けていたのだと知ると、とても興味がわいてきました。また、ザクセンハウゼン強制収容所を見学したときは、犠牲となったユダヤ人のことを思うと心が痛みました。そのほかにも、研修では人々の温かさなども感じました。店に行ったときや学校訪問のときなど、ドイツの人にはとても優しく接してもらい、わたしがドイツ語であいさつし返事してくれたときには、うれしさでいっぱいになりました。ドイツに研修に行って学んだことは、たくさんありました。環境問題に対する取り組みのことなど、いろいろと考えさせられる点もありました。今回は、登米市の海外派遣でドイツに行きましたが、今度は自分でお金をためて自分の力でドイツに行きたいと思っています。

## ドイツ Germany

【日程】平成20年7月31日（木）  
～8月6日（水）

【派遣団員数】市内中学生11人

【訪問都市】ベルリン、キルヒハイムポールンデンほか



- 1]ギムナジウム・ヴァイアーホフ学校を訪問
- 2]ギムナジウム・ヴァイアーホフ学校の日本語クラブの皆さんと
- 3]ザクセンハウゼン強制収容所跡地を見学（右の建物が人体実験室跡地）





## 4月から

# プラスチック製キャップは資源ごみとして収集します

### 今まで「キャップ」は燃やせるごみでしたが

市では、現在11品目の資源ごみ（ペットボトル、ビン類、缶類、スプレー缶、プラスチック製ボトル容器、新聞類、雑誌類、段ボール、紙製容器包装、紙パック、布類）を分別収集しています。

これまでペットボトル本体は「資源ごみ」として分別収集し、収集したペットボトルは衣類やプラスチック製品などの原料としてリサイクルしてきましたが、ペットボトルなどのキャップは「燃やせるごみ」として焼却により処分してきました。

### 4月からは「キャップ」も資源ごみとして収集します

最近では、ペットボトルなどのキャップは再資源化が可能な新たなリサイクル品目として注目され、すでにほかの自治体や各種団体などで収集が始まっています。

市では、温暖化対策や資源有効利用の観点から検討を重ねてきた結果、4月から「プラスチック製キャップ」を資源ごみとして収集することになりました。これによって、4月からの資源回収品目は12品目となります。

ペットボトルなどのキャップを資源ごみとしてリサイクルステーションに出す場合は、次の点に注意してください。

### プラスチック製キャップの出し方



#### ○対象となるもの

ペットボトルなどのプラスチック製キャップ（ふた）。



#### ○出し方

①中身の確認ができるように透明の袋に入れて縛る。



#### ②資源ごみの回収日に、プラスチック製ボトル用コンテナ（ネット付き）に入れる。

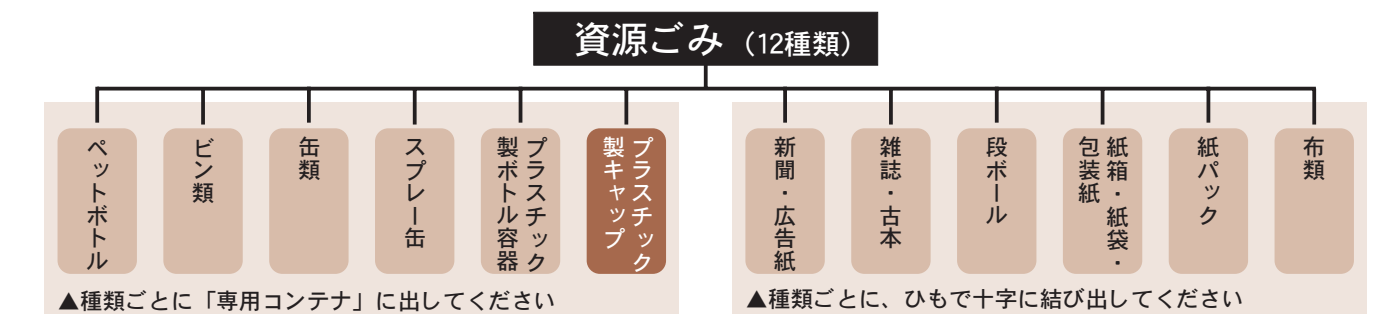
### 注意事項

- ①プラスチック製のポンプ類やコルク栓および汚れのひどいキャップは燃やせるごみに出してください。
- ②金属製のキャップは燃やせないごみに出してください。
- ③キャップは本体と分別し、ペットボトル本体は、専用コンテナに入れてください。

### 【問い合わせ】

環境事業所環境管理課 廃棄物対策係 ☎0220 (58) 2064

### ■登米市の資源ごみ分別区分（平成21年4月以降）



# 万全の検査体制で安全な水を届けます

## 水道法の水質基準にすべて適合

水道事業所では、市民皆さんに安全で質の高い水を届けるため、水道水の水質検査を定期的に行っています。

今年度は「平成20年度水質検査計画」に基づき、浄水場や市内19カ所の給水栓（蛇口）を中心に、51の基準項目と水源である北上川や迫川の水質検査を実施しました。

その結果、すべての検査で水道法に定められている基準

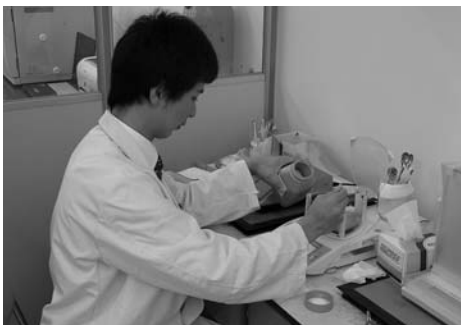
値以下と出ており、安全で安心な水であることが確認されました。

また、水質管理目標項目や検討項目でも、目標値以下となっております【表】。

なお、詳しい水質検査結果

と平成21年度検査計画については、市ホームページに掲載する予定です。

【問い合わせ】  
水道事業所水道施設課  
浄水管理係  
☎0220 (52) 2640



安全な水を届けるための水質検査

■表 水質管理目標項目の検査結果

分類	水質項目	目標値	検査結果
農業	農業102項目	102項目の検出値の総和が1 mg/ℓ以下	石越浄水場 ⇒ 0 mg/ℓ 保呂羽浄水場 ⇒ 0.019 mg/ℓ 東和系浄水場（4カ所） ⇒ 0 mg/ℓ 大萱沢浄水場 ⇒ 0 mg/ℓ
環境ホルモン	ダイオキシン類（保呂羽浄水場のみ実施）	1 pg/ℓ以下	原水0.057 pg/ℓ 浄水0.0030 pg/ℓ
クリプトスポリジウム対策	クリプトスポリジウム・ジアルジア（塩素消毒に強い原虫）	検出されないこと	すべての原水で検出されませんでした

【単位の説明】 ①単位のmg/ℓはミリグラムパーリットルと読み、水1リットルに1mg入っていると1mg/ℓになります  
②pgはピコグラムと読み、1兆分の1グラムを表します

## 水道の使用開始・休止は3日前までにご連絡を！

3月から5月にかけては、転勤・就職による引っ越しや育苗用ビニールハウスへの給水の開始・休止などにより、水道の使用開始や休止の申し込みが多くなり、窓口が大変込み合います。

当日の申し込みの場合はお伺いできない場合もありますので、希望日の3日前までに電話でご連絡ください。なお、申し込みをするときには、下記の事項についてお知らせください。

- ①料金コード（「水道使用水量のお知らせ」などで確認してください）
- ②住所（アパート名・部屋番号）、氏名、電話番号
- ③開始・休止の日
- ④引っ越し先の住所、電話番号
- ⑤料金の支払方法（口座振替または納入通知書による支払い）

申し込みを忘れると、使用していないのに水道料金の請求を受けたり、前に使用していた人の名前で料金が請求されたりすることがあります。申し込みは忘れないようにしましょう。

### 【問い合わせ】

水道事業所水道業務課 給水管理係 ☎0220 (52) 3311





# 市議会議員選挙・市長選挙 立候補予定者説明会の開催について

市議会議員一般選挙および市長選挙の告示を4月12日（日）に、投票・開票を4月19日（日）に行います。

市選挙管理委員会では、候補者の皆さんにルールと秩序を守って選挙運動を行っていただくため、立候補予定者を対象に説明会を開催します。

- ◆日時 3月17日（火）午後3時  
※受け付けは2時30分から
- ◆場所 迫公民館 2階 軽運動場
- ◆対象者 立候補予定者およびその関係者（1候補2人以内）
- ◆内容 立候補届の手続き、選挙運動の注意事項など  
※説明会当日、立候補届出用紙などをお渡しします。

【問い合わせ】 市選挙管理委員会事務局 ☎0220（22）2198



## あなたの声を市政・事業に反映させませんか 市政・水道モニターを募集します

市では、市政と水道事業に市民の皆さんの意見や要望を反映させ、住みよいまちづくりやサービスの向上を目指すために、市政モニターと水道モニターを募集します。  
応募の要件は次のとおりです。

市政モニター	水道モニター
<b>【資格】</b> ①20歳以上で市内に1年以上住んでいる人 ②地方公共団体の職員でない人 ③モニターの職務を積極的に履行できる人 <b>【定数】</b> 20人以内 <b>【任期】</b> 1年間 <b>【内容】</b> ①市政に関する建設的な意見や要望などを随時提出していただきます。 ②モニター会議（年2回）に出席していただきます。 ③市政に関するアンケートや調査表などに回答していただきます。 ④市長から出席の要請がある会議などに出席していただきます。 <b>【応募方法】</b> ①住所②氏名③生年月日（年齢）④電話番号を任意の様式に記入し、総務部市長公室広報広聴係に提出するか、電話、郵送のいずれかでお申し込みください。 <b>【応募締切】</b> 3月31日（火）まで <b>【申し込み・問い合わせ】</b> 総務部市長公室 広報広聴係 〒987-0511 登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1 ☎0220（22）2090	<b>【資格】</b> ①20歳以上で市内に住んでいる人 ②水道を使用している人 <b>【定数】</b> 20人 <b>【任期】</b> 1年間 <b>【内容】</b> ①水道に関するアンケート調査用紙の配布、回収をしていただきます。 ②モニター会議に出席していただきます。 ③水道事業に関する意見や感想などを随時提出していただきます。 ④路上漏水などを発見した際は、随時水道事業所に報告していただきます。 ⑤その他水道事業の調査に協力していただきます。 <b>【応募方法】</b> ①住所②氏名③生年月日（年齢）④電話番号を任意の様式に記入し、水道事業所水道管理課に提出するか、電話、郵送のいずれかでお申し込みください。 <b>【応募締切】</b> 3月31日（火）まで <b>【申し込み・問い合わせ】</b> 水道事業所水道管理課 経営管理係 〒987-0702 登米市登米町寺池子待井381番地1 ☎0220（52）3313

## 連載最終回 男女共同参画社会の実現 分かち合う仕事も家庭も喜びも

連載最終回の今月号では、エンパワーメント（力をつけること）が地域の活性化につながることや、「市民が創る地域のまちづくり計画」のモデル指定地区での女性がかかわっている事例など、これからの「男女共同参画社会」に向けての取り組みを紹介しします。

### 講師との楽しい会話で 話す力のスキルアップ

地域が活力にあふれ、新たな成長を生み出すためには、多くの市民が主体的に地域づくりに参画することが必要です。実際に全国では、多くの女性や若者などが地域活動に参加し、知恵や力を出し合うことにより、今まで解決できなかった地域の課題を見事に解決した事例があります。

市においても、多くの人が地域に参画できるように人材育成や能力開発の機会を設けています。その一つとして、3回にわたってフリーアナウンサーの志伯暁子さんを講師に招き、話す力のスキルアップを目的としたエンパワーメント（注1）の研修を実施しました。

人前で話すことが苦手だった受講生の皆さんは、実践的な講習で、話すことの楽しさ



スキルアップ研修でお互いに自己紹介

や伝えることの大切さを実感した研修会となりました。  
 ●受講者の感想  
 ●すぐに使えるような具体的な講習で感謝しています。  
 ●相手に理解してもらえ話し方の大切さを感じました。

（注1）エンパワーメント  
 自分自身の生活と人生を決定する権利と能力を持ち、さまざまな物事の決定過程などに参画したり、状況を変えていくための力（表現力や理解力）を持つたりすること。

### 地域のリーダーを養成

「地域づくりは、人づくり」と言われるように、より良い地域づくりに関しては、人材の育成は、非常に重要な意味を持つています。

このことから市では、昨年9月から毎月、多くの場で能力を発揮できる人材を養成するため「地域次世代リーダー養成講座」を開催しています。参加者の櫻井奈代子さん（米山）は、「講座に参加していることで、登米市の素晴らしさを再認識しました。もつと住みよい町にするために自分も何か提案していけたらと思っています」と、話していました。

また、櫻井さんは、「市民が創る地域のまちづくり計画」のモデル指定となった米山町桜岡・善王寺地区の計画策定委員も務めています。



### 地域づくりに多くの 女性が参画

現在、市では、「市民が創る地域のまちづくり計画」を策定するため市内3地区をモデル指定し、計画の策定支援を行っています。各地区のまちづくり計画の作成には多くの女性が参加し、さまざまな意見が交わされています。各地区で計画づくりに参加している皆さんの声を紹介しします。

#### 東和町米川地区

■猪又和恵さん  
 計画づくりに参加したことで、地域の皆さんの声を多く聞くことができました。計画づくりを通して皆さんと協力し、住み良い地域づくりを目指したいと思います。  
 ■片平敏朗さん  
 女性の皆さんは計画づくり積極的に参画し、女性の目線で貴重な意見を提言してくるので大切な存在です。



意見を発表する猪又さん

#### 迫町森地区

■菅原正恵さん  
 地域の優れている点や改善点などについては、計画づくりに参加したからこそ気付きました。一人一人の声が大いに受け止められるので、参加しやすいです。  
 ■及川貢さん  
 女性のきめ細やかな意見には「アツ！そうか」と今更ながら気付かされます。計画づくりを通して耳を傾けることの大切さを学びました。



地域の課題についての話し合い

市では今後も、男性も女性も性別に関係なく能力を適切に生かし、誰もが自分らしく生きることが出来る社会づくりのため、お互いが協力しあう「男女共同参画社会」の構築を目指していきます。

【問い合わせ】  
 企画部市民活動支援課  
 市民参画支援係  
 ☎0220（22）2173



### 登米市「緊急経済・雇用対策」

## 臨時職員の雇用を開始 36人に辞令を交付

急激な雇用環境の悪化を受け、市で取り組んでいる「緊急雇用対策」の一環として採用した臨時職員の辞令交付式が2月9日、迫公民館で行われました。

式では、2月5日まで申し込みのあった市内の19歳から59歳までの男性20人、女性16人、合計36人に、布施市長と佐藤教育長から辞令が交付されました。市長は「皆さん一



人一人が市民の生活を支えているという使命感を持って業務に取り組んでほしい。中には不慣れた業務もあるかもしれないが、市民の皆さんが安心して生活できるまちづくりを目指し、わたしたちと一緒に頑張りましょう」と訓示。その後、採用者は配属先の各部署へ移動し、仕事を始めました。

採用された市内の40代の男性は「短い期間ではあるけれど、どんな仕事でも最大限に努力したい」と、話していました。

今回の緊急雇用対策は、企業の業績不振などにより雇止めや解雇で離職を余儀なくされた人を対象にしたもので、採用者は3月末まで各種データの集計や備品整理、各種調査、道路補修補助などの業務に当たります。

#### 【問い合わせ】

産業経済部商工観光課  
工業振興係  
☎0220(34)2734

### 市スポーツ & 入賞情報 (敬称略)

#### 第37回みやぎソフトバレーボール登米大会

■開催日 1月25日(日)  
■会場 登米総合体育館

【トリン・クリスタルの部】  
第2位 球愛会A(登米市)

#### 第18回伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト

■開催日 2月11日(水)  
■会場 伊豆沼・内沼  
サンクチュアリセンター

【金賞】  
登米市長賞 蛭田敏夫(中田)  
栗原市長賞 阿部圭吾(石越)  
【銅賞】  
読売新聞社賞 梶原宗孝(東和)

#### 第35回宮城中学校春季選抜バレーボール大会登米市予選

■開催日 1月31日(土)  
■会場 中田総合体育館

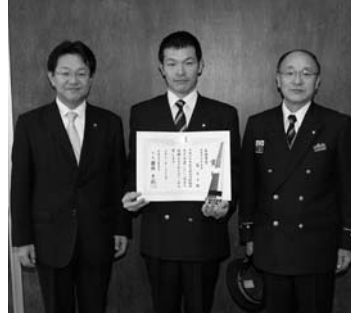
#### 【女子の部】

第1位 豊里中学校  
第2位 登米中学校  
第3位 佐沼中学校

#### 平成20年度宮城県消防職員意見発表会

■開催日 1月29日(木)  
■会場 仙台市消防局

【最優秀賞】  
「心の声」  
袋岳人(市消防本部)



東北大会での活躍が期待されます

#### 平成20年度宮城県農業・農村活性化女性グループ表彰

■開催日 2月4日(水)  
■会場 仙台国際センター

【優秀賞】  
カタクリの里(東和)

#### 第60回作詞・作曲コンクール

■開催日 2月9日(月)  
■会場 仙台市常盤木学園

【作詞の部】  
特選 三浦正登(浅水小)  
【作曲の部】  
特選 鈴木美咲(石越小)

# 地域が協力して文化財を守る

## 文化財防火デー防災訓練・文化財講座

昭和24年に世界最古の木造建築物である法隆寺金堂壁画(国宝)が火災によって消失したことを教訓に定められた文化財防火デー(1月26日)にちなみ、1月25日、市指定文化財を多く所有する「石越山昌学寺」で防災訓練が実施されました。

訓練には地域住民、市消防団石越支団、市婦人防火クラブ石越支部、昌学寺関係者ら約100人が参加。昌学寺西



参加者による本堂からの重要物搬出訓練

側の金鶏山山林から出火し、本堂へ延焼する恐れが生じたと想定して進められました。訓練は、一般電話からの通報訓練や駆け付けた住民による重要物の搬出、消火器の取り扱い指導などを実施。参加者が煙の中を通り抜ける煙道体験や地域住民による消火栓を使った消火訓練、消防団による建物への一斉放水なども実施され、参加した皆さんは各訓練に真剣に取り組んでいました。消火訓練に参加した地区住民は「実際に火災が起こったときには、今日の訓練を参考に少しでも被害を抑えられるようにしたい」と話していました。



消火栓の取り扱いについて説明を受ける参加者



南浦住職による昌学寺の歴史などの講話

## 農業についての意見を交換

### 認定農業者連絡協議会「登米市長との新春懇談会」

市長との懇談を通して市の農業経営の健全な発展と地域農業の振興を目的に、認定農業者連絡協議会(高橋幸三会長・迫町)と布施市長との新春意見交換会が1月30日、ホテルニューグランドで開



農業に対する市の政策などを説明をする市長

催されました。

交換会には、市内の認定農業者や市の関係者など約60人が参加。高橋会長が「現在、わたしたち農家を取り巻く環境は非常に厳しいものではありますが、相互に協力し登米市の農業を守っていきたい」とあいさつ。その後、布施市長による「元気の登米市の農業」と題した講話が行われ、現在、市の農業を取り巻く環境や学校、病院などの給食による地産地消の推進などについて相互に意見を交換しました。

意見交換では、参加者から地産地消の拡大や飼料用米の出荷助成、担い手の確保などについて意見や要望が出されました。

## 防災 ミニ情報

### ⑥ 火災警報機の設置はお早目に

火災が多くなるこの季節、幼い子や一家全員が焼死するなどという住宅火災による痛ましい報道が、連日のように新聞などに掲載されています。全国では1年間に千人を超える焼死者が発生し、その原因の9割は住宅火災となっており、そのうち7割が就寝中の「逃げ遅れ」が原因となつています。住宅様式が開放型から個室型に変わり、音・煙とも気付きにくくなったことが一因と考えられます。このような事故に遭わないためには「早く知り、早く知らせ、早く逃げる」ことです。住宅用火災警報器は火災時に最初に発生する煙を感知して、警報音を発する機器で、電池1個で1年以上火災を見張る「優れた番人」です。大切な家族の命を守るために、早めに取り付けましょう。







▲講師の話を楽しみながら、笑顔で運動する参加者の皆さん

## 登米で介護予防フォローアップ事業 笑顔で元気に楽しいひととき

「元気とよま講座」と「からだ元気アップ教室」の参加者を対象とした介護予防フォローアップ事業が2月13日、登米老人福祉センターで開催されました。これは、介護予防に向けた取り組みを各事業の終了後も継続して行い、健康な体を維持してもらおうと開催されたものです。事業では、講師から「運動を確実にできるかどうかよりも、しようとする気持ちが大事」と話があり、参加者はうなずきながら聞いていました。講師の話に会場は終始笑い声が絶えず、参加者は楽しみながら健康づくりを行っていました。

## 中田で中田町新春囲碁将棋大会 盤上で繰り広げられる熱戦

第34回中田町新春囲碁将棋大会（中田町囲碁・将棋愛好会主催）が2月11日、中田老人福祉センターで開催されました。大会には、市内はもとより市外から幅広い年齢層にわたり、囲碁の部27人、将棋の部30人の愛好者が参加しました。会場では、参加者が実力ごとに囲碁3クラス、将棋2クラスに分かれて対局し、日ごろ鍛えた腕を試していました。中には何度も形勢の入れ替わる対局などもみられ、多いに盛り上がりを見せた大会となりました。



▲参加者は、対戦を楽しみながらも一手一手に集中していました



▲わら装束に身を包んだ男たちが、各家に水を掛けて周りました

## 東和で冬の伝統行事「米川の水かぶり」 勇壮な姿と水しぶきに歓声

国の重要無形民俗文化財に指定されている「米川の水かぶり」が、2月の初午の日にあたる2月6日に行われました。これは米川五日町地区に伝わる伝統の火伏せ行事で、地区内に住む男たちがわら装束に身を包み、家の前に用意された水を屋根にかけて歩きます。また、男たちが身に付けているわらを抜き取り、屋根に乗せると火伏せのお守りになるとも言われ、追いかけてわらを抜き取るようとする子どもたちや男たちの姿を写真に納めようとするカメラマンなどが沿道にあふれていました。

## 津山横山不動尊で節分豆まき 新しい年の幸福を祈願

節分豆まき（横山6・7区集会所運営委員会主催）が2月1日、横山不動尊で開催され、羽織はかま姿の関係者が「福は内、鬼は外」の掛け声とともに豆をまきました。まかれた豆には「福豆」が入っていて、拾った人には住職から「敬・和顔愛護」と刻まれた福升が配られました。この文字には「人を敬い、接するときには和やかな笑顔、思いやりの言葉で伝えてほしい」という願いが込められています。豆まきに参加した人たちは、多くの福が届くようにと、豆袋と福升を大切に持ち帰りました。



▲横山不動尊の境内には福を求めて多くの人々が詰め掛けました



▲思い思いのデザインを描いてオリジナルのガラスを制作しました

## 迫でガラス工芸体験教室 趣向を凝らしてガラスを制作

細かい砂を圧縮空気で吹き付けるサンドブラストという手法を使いデザインを彫刻する、ガラス工芸体験教室が1月21日、迫勤労青少年ホームで開催されました。教室には迫地区の青少年らが参加し、講師の指導を受けながら、ガラスのコップに貼り付けた下絵をカッターで切り抜いた後、サンドブラスト機で砂を吹き付け、趣向を凝らしたオリジナルの作品を制作しました。受講者からは「初めてだったが、思っていた以上に良くできた」「作業が細かくて難しかったが、面白かった」といった感想が聞かれました。

## 石越で健康アップ・笑顔アップ教室 多彩な運動で元気な笑顔を！

運動する機会が減り、運動不足になりがちなこの季節。家庭でも気軽に取り組める運動や体操で健康な体づくりに役立てようと、1月15日から2月27日までの7回にわたり「健康アップ・笑顔アップ教室」（石越公民館・いしこしENJOYスポーツクラブ共催）が石越公民館で開催されました。教室では太極拳やボールなどを使った3B体操、ヨガ教室、レクリエーションなどの多彩なコースが用意され、参加した皆さんはそれぞれの運動を楽しみながら、心地よい汗を流していました。



▲ゆったりとした運動でしっかりと体を動かす太極拳教室



トピックス **ぶらす**

1/27

**地元の風景の素晴らしさを見直して**

「観光振興などに役立ててほしい」と1月27日、昨年11月に行われた「アートフェスティバル登米」の実行委員や作品出展者が市役所迫庁舎を訪れ、市内名所のパノラマ写真が寄贈されました。寄贈されたのはフェスティバルにも出展された2作品で、市では平筒沼の写真を南方庁舎に、教育資料館の写真を中田庁舎にそれぞれ飾る予定としています。



▲市内観光名所のパノラマ写真2点が贈られました

2/3

**農産物の生産から食品の生産へ**

農産物生産振興研修会が2月3日、ホテルニューグランヴィアで開催され、市内の園芸農家や県、市、JAの関係者ら約130人が参加しました。研修会では、農薬の適正な使用方法や、千葉県多古町旬の味産直センターの鎌形芳文よしふみ課長を講師に招いての講演が行われ、商品販売戦略や農業生産工程の管理方法など、先進事例について学びました。



▲センターの販売システムについて説明する鎌形課長

2/6

**各体育協会が交互に情報交換**

市内の体育協会間で情報交換などを行う「体育協会登米市ブロック研修会」が2月6日、豊里多目的研修センターで行われました。研修会では、フェンシング日本代表選手の菅原智恵子ちえこさんによる「オリンピックを通じて学んだこと」と題した講演のほか、南方と登米両地区の協会代表者から事例発表が行われ、参加者は熱心に受講していました。



▲運動することの大切さや、難しさを話す菅原選手

2/8

**青年たちが文化活動を発表**

市内の青年が一堂に集い、日ごろの文化活動の発表を通して青年会活動を活性化することを目的とした「第4回登米市青年文化祭」が2月8日、東和勤労青少年ホームで開催されました。この文化祭は登米郡時代から通算で53回目の開催となり、会場では各町域の青年会による伝統芸能や人形劇などの披露、写真展示などが行われました。



▲石越青年サークルによる「宮鎮め舞」の披露

**スキーを通して団員が交流**

豊里でスポーツ少年団スキー教室

日ごろ活動している各種スポーツ少年団員の交流を深めることを目的としたスキー・スノーボード教室（市スポーツ少年団豊里支部・豊里公民館主催）が2月11日、大崎市のオニコウベスキー場で開催され、豊里支部の小学生団員とその保護者14人が参加しました。参加者はスキーとスノーボードに班編成をした後、指導員から一人一人丁寧に指導を受けていました。教室の後半には、高い所から滑ったり友だちと競ったりする姿が見られ、参加者は歓声を上げながらスキーやスノーボードを楽しんでいました。



▲指導員から一人一人丁寧に指導を受けました



▲慣れない手つきながらも「はっと摘み」に挑戦しました

**ママの「はっと」おいしいね**

南方でぼっぼクラブ「登米料理教室」

市の食材を使った料理教室が1月30日、南方子育てサポートセンターで開催されました。教室では、食生活推進員協議会の皆さんから調理指導を受けて調理実習を行いました。また、教室では子育てボランティア「あそぼ」に協力してもらっての託児サービスが行われ、参加者は集中して料理に取り組んでいました。参加者の中には県外の出身で「はっと摘み」は初めてという人もいましたが、手際よく調理していき、愛情いっぱいの「はっと」と「米粉パンケーキ」が完成。会場は親子の笑顔であふれていました。

**ふるさとの友と語り合う**

東京米山会総会・懇親パーティー

第26回東京米山会総会・懇親パーティーが2月15日、アンフェリシオン（東京都江東区亀戸）で開催されました。米山出身の会員約120人が参加した総会では、佐藤順二じゅんじ会長が「今後もふるさと米山を思い、自分たちの手で親睦を深める会にしましょう」とあいさつ。総会終了後の懇親会では、懐かしいふるさとの思い出話に花を咲かせたり、お互いの近況などを語り合う姿が会場のあちこちで見られたほか、地元物産品の販売では多くの皆さんが、ふるさとのお土産を買い求めていました。



▲懐かしむかのように米山産の農産物や加工品を買い求める在京者



新刊紹介 = 迫図書館 = ☎0220 (22) 9820

■大人向け



ブラザー・サンシスター・ムーン 恩田 陸／著 何物にも代えがたい幸せな時間と確かな輝き・・・それが青春。



池上彰の「世界が変わる!」 池上 彰／著 2009年の世界を読み説く1冊。混迷が続く世界はどうかになるのか。



セルライト 超燃焼 リンパマッサージ 決定版 渡辺 佳子／著 春が近づいています。気になる部分をシェイプアップしませんか。

■子ども向け



まんがで学ぶ語源 山口 理／著 ことばの語源を考えてみませんか。クイズ形式で楽しく学べます。



絵で見て“ちがい”がわかる本 村越 正則／監修 似ているけど違うもの。動物、植物、いろいろな違いを学ぶおもしろ辞典。



ランドセルがやってきた 中川 ひろたか／著 うみひこくんはもうすぐ1年生。大きなプレゼントの中身は？

※たくさん新刊が入りました。詳しくは市ホームページをご覧ください。

わが家のアイドル

No.47



菅原 一真くん (石越町新道) 平成17年8月4日生まれ (3歳) 敬一さんの長男

ヤッターマンが好きでヤッターアンコウがお気に入りの一真くん。外で遊ぶのも大好きで、自転車にも上手に乗ります。おすし屋さんに行くと、大好きなイクラとプリンを真っ先に食べる一真くんです。



佐藤 由貴ちゃん (東和町米川第10区) 平成18年9月29日生まれ (2歳) 秀さんの長女

テレビの「おかあさんといっしょ」の音楽に合わせて上手に踊る由貴ちゃん。おじいさんと一緒に家で飼っている牛のお世話もします。食べ物では、ケーキなど甘いものが大好きな由貴ちゃんです。



鈴木 夏至くん (迫町駒木) 平成19年6月16日生まれ (1歳) 健さんの次男

外で遊ぶのが大好きで、いつも三輪車に乗って元気に遊ぶ夏至くん。家では、ブロックや乗り物のおもちゃでお兄ちゃんと一緒に仲良く遊びます。好き嫌いが無く、なんでもよく食べる夏至くんです。



佐藤 ころちゃん (南方町青島) 平成18年2月18日生まれ (3歳) 光弘さんの長女

ディズニーアニメが大好きなころちゃん。中でも「トイ・ストーリー」がお気に入りです。お兄ちゃんと一緒に植えたチューリップが、春になって咲くのを楽しみに待っているころちゃんです。

まちの若い衆 No.47



中川 誠さん (23歳)

なかがわ まこと 南方町新高石・てんびん座

一人でも多くの利用者に 楽しい一日を過ごしてもらいたい

★身長と血液型 171センチでA型です。 ★現在は 市内の南方ナーシングホーム翔裕園に介護士として勤めて3年目になります。仕事では、利用者の食事や入浴のお世話などを行っています。また、利用者一人一人に合わ

せた柔軟な対応を心掛けています。 ★自分の性格 プラス思考で明るい方だと思います。友達からは、活動的とか行動派だとよく言われます。 ★休日は 最近はなかなか行けません。好きな映画を見に行ったり、ドライブをしたりにして過ごすことが多いです。 ★趣味は 学生時代から続けているサッカーが趣味で、ときどき市内のチームの練習に参加しています。 ★理想の女性像 一緒にいて自分を楽しませてくれる人。 ★今やってみたいこと 長期の休みを取って、海外旅行に行ってみたくて思っています。中でも、ヨーロッパに行つて本場のサッカー観戦をしたいと思っています。



菅原 佳奈さん (横山小5年) (津山町横山10区・浩人さん方)

歯科衛生士になって治療の手助けを 学校では、保健委員をしている佳奈さん。学校のみんなが風邪をひかないように、うがい・手洗いなどのポスターを校内に掲示しています。 そんな佳奈さんの将来の夢は、歯科衛生士になること。 以前、自分が歯医者に行ったとき、最初はとても怖かったけど、歯科衛生士のお姉さん優しさで怖さがなくなったの

がきっかけになって「わたしもお姉さんのようになりたい」と思ったそうです。 「将来はどんな歯科衛生士になりたいですか」という質問には、「多くの人に歯の大切さを伝えたいです。患者さんには優しく接して、安心して治療を受けてもらえるようにしたいです」と、話してくれました。

文芸 俳句・川柳

作品募集! ●4月号は短歌です。住所、氏名、電話番号を記入し、3月10日までご応募ください。なお作品にはすべてかなを振ってください。 ●応募者多数の場合は抽選で掲載します。

俳句 一人居てストロブの燃える音を聞く 佐々木 廣 (迫) 痛み持ちて動ず我が身のもどかしさ 菅原 たゑ子 (中田) 婚指環遺品となりし浅き春 石川 敦子 (中田) 地震の山白き傾き春浅し 佐々木 武子 (中田) 年新た八十路の坂の道険し 西條 とき子 (津山) 昏昏と月光降りて年新た 佐竹 恒子 (津山) 雪しまく虚空蔵尊の大鳥居 浅野 のり子 (津山) 千支の牛ことに光りて初詣 遠藤 聖子 (津山) 献曲の琴の音色や年新た 武山 より子 (津山) 湯の宿のすぐ売り切れし寒卵 首藤 和子 (東和) 踊る手の白くしなりて二月尽 岸名 和子 (東和) 老松の伐られし年輪四温晴 及川 裕子 (東和) 景気づけに足して薄型テレビ買う 武内 弘也 (中田) もう春の風に出会った万歩計 佐藤 四郎 (豊里)



市民の広場のコーナーでは、掲載を希望する人や情報を募集しています。 広報広聴係まで情報をお寄せください。 ○総務部市長公室広報広聴係 ☎9877-0511 登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1 ☎0220(22)2090 FAX0220(22)9164 Eメール koho@city.tomeriyagi.jp

市民の広場の保護者名は、取材時に申し出のあった人の名前を掲載しています。





加藤 光ちゃん  
(米山町追土・亮さん)



熊谷 夢生くん  
(南方町南大畑・稚奈さん)



芳賀 寧々ちゃん  
(南方町沢田・正史さん)



津藤 隼くん  
(南方町板倉・順さん)



加藤 航大くん  
(中田町神ノ木・和昭さん)



佐藤 彩乃ちゃん  
(中田町加賀野二区・静樹さん)



豊原 智美ちゃん  
(米山町中新田・文雄さん)



及川 七海ちゃん  
(米山町六軒屋敷・雄二さん)



千葉 由樹くん  
(米山町相ノ山・英樹さん)



金 晴輝くん  
(石越町第十区・供彦さん)



金野 美那ちゃん  
(石越町第二区・芳春さん)



千葉 洸大くん  
(中田町城内・みきさん)



白石 久道くん  
(中田町石森長根・晃さん)



佐々木祥也くん  
(中田町本町畑中・修さん)

2月13日までの3歳児健診(3歳6カ月~7カ月児)でむし歯がなかった子は、市内4地区で31人中14人でした

※( )内には申し出があった保護者の名前を掲載しています。

## 4月から佐沼病院に乳腺外来を開設

最近、乳がんになる人が増加しており、毎年新しく約4万人の人が乳がんの治療を受けています。

また、乳がんは、女性のがん死亡原因で1位となっており、検診を受診し、早期発見により乳がん死を減らすことは重要です。

乳がんは、早期に発見できて適切な治療を受ければ、治癒率の高い疾病です。しかし、受診率が低く死亡率の増加に歯止めをかけられていません。

4月から、県立がんセンターの乳腺専門医・多田寛医師が、佐沼病院外科に勤務することになり、乳腺専門医が2人になります。そこで、乳腺外来を開設し、検診、治療、診断を充実させることにしました。

乳がん検診時期に都合が悪く受検できなかった人は、

検診(有料)を受けてみてはいかがでしょうか。

また、セカンド・オピニオン(※)についてもご相談ください。

### ◇乳腺外来

【診療日】 毎週月曜日、水曜日

【受付時間】 午前8時から11時まで

【問い合わせ】

佐沼病院 ☎0220(22)5511

※セカンド・オピニオンとは？

セカンド・オピニオンとは、直訳すれば「第2の意見」で、「病状や治療方針について、主治医以外の医師の意見を聞き、参考にすること」をいいます。

一人で悩まずに相談を

## 3月の「こころの相談」

- 眠れない、気分が落ち込む、イライラする
- 家庭や職場、学校などで対人関係がうまくいかない
- 人との付き合いがおっくうだ
- お酒がやめられない
- 物忘れが気になる、認知症による問題行動でどうしたらいいかわからない
- 精神疾患を抱えている本人や家族、関係者など

相談は無料で、秘密は守られます。

また、事前に申し込みが必要です。 ※居住地以外のところでも相談できます。

地区	日(曜)	場 所	担 当	申し込み電話番号
迫	26日(木)	迫保健センター	臨床心理士	☎0220(22)5554
登米	17日(火)	登米総合支所	カウンセラー	☎0220(52)5054
東和	17日(火)	東和地域福祉センター	医 師	☎0220(53)4112
中田	18日(水)	中田保健福祉会館	カウンセラー	☎0220(34)2311
豊里	6日(金)	豊里健康管理センター	カウンセラー	☎0225(76)4113
米山	12日(木)	米山総合支所	カウンセラー	☎0220(55)2112
石越	12日(木)	石越総合支所	医 師	☎0228(34)2112

不明な点は、各総合支所市民福祉課 健康づくり係までお問い合わせください

## 障害者就業相談のお知らせ

【相談日時】 3月24日(火)

午前9時30分~正午、午後1時30分~3時

【場所】 県東部保健福祉事務所 登米地域事務所

【申し込み】 予約制です。お住まいの町域の総合支所市民福祉課市民福祉係にお申し込みください。

【問い合わせ】

▶福祉事務所生活福祉課 障害福祉係

☎0220(58)5552

▶各総合支所市民福祉課 市民福祉係



## 大切な“いのち”を守るため 献血にご協力ください

3/5(木)	ヨークベニマル佐沼店	10:10~12:00 13:00~16:30	全血
9(月)	南方総合支所 米山農村環境改善センター	10:00~12:00 14:00~16:00	全血
15(日)	ロックシティ佐沼 ショッピングセンター	10:00~12:00 13:00~16:30	全血
19(木)	石越総合支所 みやぎ生協 加賀野店	10:00~12:00 14:00~16:30	全血

【問い合わせ】 市民生活部健康推進課 健康推進係  
☎0220(58)2116

## 3月の休日当番医・歯科休日当番医

月 日	休日急患当番医 ☎0220(22)2084(医師会)	歯科休日当番医
3/1(日)	市立米谷病院 東和町 ☎0220(42)2007	市立米谷病院 東和町 ☎0220(42)2007
8(日)	大坂医院 中田町 ☎0220(34)6625	津山歯科診療所 津山町 ☎0225(68)3244
15(日)	田中醫院 迫町 ☎0220(22)1155	高橋歯科医院 登米町 ☎0220(52)3210
20(金)	上杉皮膚科医院 迫町 ☎0220(21)1380	中江歯科クリニック 迫町 ☎0220(22)7767
22(日)	米川診療所 東和町 ☎0220(45)2301	まつお歯科医院 迫町 ☎0220(28)2311
29(日)	二瓶内科胃腸科医院 迫町 ☎0220(22)6508	東和歯科医院 東和町 ☎0220(53)3811
4/5(日)	市立よねやま病院 米山町 ☎0220(55)2011	市立よねやま病院 米山町 ☎0220(55)2011

○診療時間 9:00~17:00

○休日・夜間診療案内 ☎0229(24)2267(24時間)

○診療時間 9:00~17:00

【問い合わせ】 ※月曜~金曜日(休日を除く)  
市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116

※当番医は、変更になることがあります。各医療機関に確認の上、受診してください。



## 登米市歯科医師会主催 県民公開講座

- 【日時】** 3月22日(日)午後2時～4時30分(午後1時開場)  
**【場所】** 登米祝祭劇場 大ホール  
**【テーマ】** 楽しい人生への挑戦  
 ～歯・口から始める健康づくり～  
**【内容】** 講演、講師＝渡辺祥子さん(フリーアナウンサー)、安藤良彦さん(登米市歯科医師会会長)  
**【入場料】** 無料  
**【その他】** 来場者には記念品のプレゼントがあります。  
**【問い合わせ】**  
 登米市歯科医師会県民公開講座事務局：津山歯科診療所  
 ☎ 0225 (68) 3244

## こいのぼりを 譲ってください

中田町浅水地区では、平成6年から、次代を担う子どもたちが元気にたくましく育つようにと願いを込めて、毎年4月から5月にかけてこいのぼりを掲揚しています。

家庭で使わなくなったこいのぼり

がありましたら、提供をお願いします。

- 【提供できる場合】** 3月19日(木)までに、電話で連絡をお願いします。受取方法については、その際、相談させていただきます。  
**【連絡先・問い合わせ】**  
 浅水ふれあいセンター  
 ☎ 0220 (34) 2008  
 ※開館時間＝火曜から土曜日の午前8時30分～午後5時15分



## 米谷工高、本吉響高、 津谷中、階上中 ジョイントコンサート

今年で6回目となる各校の吹奏楽部によるコンサートです。

- 【日時】** 3月21日(土)午後1時30分～(午後1時開場)  
**【場所】** 本吉町はまなすホール

**【ゲスト】** 永沼響子さん(フルート奏者)、フルートソロのミニステージもあります。

- 【曲目】**  
 大草原の歌、崖の上のポニョなど  
**【問い合わせ】**  
 ▶津谷中学校(千葉)  
 ☎ 0226 (42) 2654  
 ▶本吉響高校(橋本)  
 ☎ 0226 (42) 2627

## 林林館陶芸教室 参加者募集

五月人形を作ってみませんか。

- 【日時】** 3月29日(日)、30日(月)いずれも午前10時～正午  
**【場所】** 林林館(東和町)2階  
**【講師】** 瑞樹窯 笠政彦さん  
**【材料費】** 2,300円～  
**【募集人員】** 各20人  
**【申込方法】** 電話  
**【申込期限】** 開催日の3日前  
**【申し込み・問い合わせ】**  
 ▶林林館  
 ☎ 0220 (45) 1821  
 ▶瑞樹窯  
 ☎ 0220 (45) 1226

## 子育てをもっと楽しもう♪「すくすくフェスタ」参加者募集

春から新しい場所へ踏み出す親子を応援するイベントです。今欲しい体験型情報に触れることができる託児付きの講座を設けて、幼児期の子育てをしているママを応援します。託児デビューのお子さんも大歓迎です。

- 【日時】** 3月24日(火)午前10時～正午  
**【場所】** 登米祝祭劇場 小ホール  
**【対象者】**  
 2歳くらい～4歳くらいの幼児とその親  
**【内容】** ▶お弁当レシピ講座▶ママのためのリラックスヨガ講座▶ママが教える手作りグッズ講座  
**【募集人員】** 30組  
**【託児受付人数】** 30人  
**【参加費】** 300円(子ども一人当たり)  
**【申込方法】** 電話  
**【申込期限】** 3月19日(木)  
**【その他】**  
 参加者全員に絵本をプレゼントします。

### ☆ 託児ボランティア募集 ☆

「すくすくフェスタ」で託児を担当してくれる「託児ボランティア」を募集します。ご協力をお願いします。

- 【日時】** 3月24日(火)午前9時～午後1時  
**【場所】** 登米祝祭劇場 小ホール  
**【応募資格】**  
 ▶保育士の資格を持っている人  
 ▶市の子育てサポーター養成講座を受講した人  
 ▶子育て支援ボランティアグループに所属している人  
**【募集人員】** 5人  
**【応募方法・募集期限】** 電話・3月15日(日)  
**【その他】** 交通費を支給します。



**【申し込み・問い合わせ】** NPO法人すくすく保育研究所(堀田) ☎ 090 (2999) 8253

## 国税専門官採用試験のお知らせ

仙台国税局では、バイタリティーあふれる税務職員を募集します。採用されると、税務大学校で研修を受けた後、仙台国税局管内(東北6県)の税務署に配属されます。

- 【受験資格】**  
 ①昭和55年4月2日から昭和63年4月1日生まれの人  
 ②昭和63年4月2日以降生まれの人で次の(1)、(2)に該当する人  
 (1)大卒者および平成22年3月までに大学卒業見込みの人  
 (2)人事院が(1)と同等の資格があると認める人  
**【申込受付期間】**  
 4月1日(水)～14日(火)  
**【申込書請求先】** 最寄りの税務署、仙台国税局人事第二課または人事院東北事務局  
**【問い合わせ】**  
 仙台国税局人事第二課試験研修係  
 ☎ 022 (263) 1111 内線3236

## 銃刀法が改正されました

銃刀法の改正により、平成21年1月5日から、刃渡り5.5cm以上の剣の所持が禁止されました。

- 【剣とは】** ダガーナイフなどのような両側に刃が付いた刃物  
 ※柄を付けて用いる左右均整の形状をした諸刃の硬質性の刃物で、先端部が著しく鋭く、本来殺傷の用具としての機能を有するもの。  
**【違反すると】** 3年以下の懲役または50万円以下の罰金  
**【現在所持している人は】**  
 平成21年7月4日までに廃棄などの措置をすれば罪に問われません。必ず警察に廃棄処分などを依頼するなどの措置を講じてください。詳細については、警察署生活安全課にお問い合わせください。

### 【問い合わせ】

- ▶佐沼警察署  
 ☎ 0220 (22) 2121  
 ▶登米警察署  
 ☎ 0220 (52) 2121

## 予備自衛官補募集

### 【応募資格】

- ①一般＝18歳以上34歳未満の人  
 ②技能＝18歳以上で保有する技能に応じて53歳～55歳未満の人

- 【受付期限】** 4月13日(月)まで  
**【試験日】** 4月18日(土)～20日(月)のうち1日を指定されます。

### 【採用後の教育訓練】

- ①＝3年以内に50日  
 ②＝2年以内に10日  
 ※招集手当(日額7,900円)・招集旅費が支給されます。食事は無料支給、被服は無料貸与されます。※訓練期間中は、駐屯地内の宿舎に起居することになります。

### 【教育訓練場所】

陸上自衛隊多賀城駐屯地

### 【待遇など(身分)】

非常勤の特別国家公務員

### 【願書請求先・問い合わせ】

自衛隊宮城地方協力本部  
 登米地域事務所  
 ☎ 0220 (34) 2244

## 3月の パソコン無料相談室

### ◆パソコン教室

ワードで引越したのはがきの作成、エクセルの基本操作を勉強してみませんか。

#### ①ワード

- 【日時】**  
 3月10日(火)午前10時～正午  
 3月13日(金)午後7時～9時

#### ②エクセル

- 【日時】**  
 3月17日(火)午前10時～正午  
 3月20日(金)午後7時～9時

### ①・②共通事項

**【場所】** 迫にぎわいセンター

**【受講料】** 2,000円

**【申込方法】** 電話

**【申込期限】** 受講日前日

### ◆無料相談室

パソコンで困っている人のため、無料相談会を開催します。パソコンの持ち込みが可能な人は、持参してください。

**【日時】** 3月22日(日)

午前10時～正午

**【場所】** 迫にぎわいセンター

**【申込期限】** 5日前まで

### ◆出前コース

都合の良い時間に合わせて、あなたの自宅にパソコンを持参して相談に応じます。

**【料金】** 1コース5,000円(4時間)

### 【申し込み・問い合わせ】

NPO法人パソコン・ネット・みやぎ

☎ 0220 (21) 5262



## 登米祝祭劇場 3月のイベント情報

### ◆佐沼高校軽音部卒業ライブ

**【日時】** 3月14日(土)午後1時～

**【場所】** 小ホール

**【入場料】** 無料

### 【問い合わせ】

佐沼高校軽音部OB・OG会

☎ 0220 (34) 4210

### ◆冠二郎オンステージ

**【日時】** 3月21日(土)午後1時～

**【場所】** 大ホール

**【入場料】** 前売り＝3,500円

### 【問い合わせ】

(有)菱和企画

☎ 0220 (55) 2786

### ◆新舞踊まつりチャリティショー

**【日時】** 3月29日(日)午前11時～

**【場所】** 大ホール

**【入場料】** 1,500円

### 【問い合わせ】

新舞会

☎ 0220 (34) 3525



## 市医学生奨学金・修学一時金貸し付け希望者募集

### ①医学生奨学金

【対象者】 将来医師として登米市立病院・診療所（老人保健施設を含む）で診療業務に従事する意欲のある医学部大学生、大学院生、臨床研修医

【募集人員】 4人程度

【貸付金額】 ▶大学1年～3年生＝月額20万円以内▶大学4年～6年生＝月額30万円以内▶大学院生＝月額30万円以内▶臨床研修医＝月額20万円以内  
※学年の区分は、平成21年4月1日に在籍する学年を基準とします。

【貸付期間】 貸付決定の月から、大学卒業、大学院課程修了または臨床研修終了の月まで。ただし、大学生奨学金は6年、大学院生奨学金は4年、臨床研修医奨学金は2年を限度とし、最長は10年とします。

【返還の免除】 市立病院などで、一定期間内に（注1）定められた年数（注2）を勤務した場合は全額免除。

▶注1＝注2の年数を2倍した年数▶注2＝貸付合計金額を240万円で割った数に相当する年数、あるいは貸し付けを受けた期間に相当する年数のうち多い年数

【有給研修制度】 上記の勤務期間中、3年勤務後に1年間の有給研修を認めます。

【一括返還】 退学、研修中止などで、貸付目的を達成する見込がなくなったときは、貸し付けを停止し、一括返還していただく場合があります。

【連帯保証人】 2人（1人は家族で可、もう1人は別世帯で独立生計を営む人）

【申請書類】 次の書類を郵送または持参してください。

※様式は、市ホームページからダウンロードできます。

①貸付申請書（大学生・大学院生・研修医）②在学証明書（大学生・大学院生）。ただし、4月入学予定者は、合格通知書または入学通知書の写し③研修実施計画書（臨床研修医）④戸籍抄本⑤医師免許証の写し（大学院生・臨床研修医）⑥在学する大学・大学院の学長または学部長などの推薦調書（4月に入学する人は不要）⑦研修を受けている医療機関の開設者または管理者の推薦調書（臨床研修医）

【申込受付期間】 3月3日（火）～4月10日（金）

※郵送の場合は、当日消印有効

【審査方法】 書類審査および面接審査

※面接は4月下旬を予定

【貸付開始時期】

21年5月（4月にさかのぼって貸し付けします）

### ②修学一時金

【対象者】 医学生奨学金貸付対象者のうち希望する人

【募集人員】 3人程度

【貸付金額】 760万円以内

【返還方法】 無利子貸付（返還免除の制度はなし）とし、医学生奨学金貸付の最後の月から10年以内に返還

【申請書類】 修学一時金貸付申請書

### ①・②共通事項

【申込先・問い合わせ】

医療局医療管理課

〒987-0511 登米市迫町佐沼字下田中25番地

☎ 0220 (21) 6888

## 子育て支援センター登録者募集

みんなで楽しく遊んだり、おしゃべりしたりして過ごしませんか。

	米山子育て支援センター	中田子育て支援センター	豊里子育て支援センター	津山子育て支援センター	石越子育て支援センター
対象	市内在住の0歳～就学前の子どもと保護者（家族の人）				
曜日・時間	○あそびの広場 【曜日】 毎週水曜日・木曜日 【時間】 午前9時30分～11時	○カムカム広場 【曜日】 毎週水曜日 【時間】 午前9時30分～11時30分	○子育てサロン 【曜日】 毎週月曜日・木曜日 【時間】 午前9時30分～11時30分	○ぼんぼこ広場 【曜日】 毎週水曜日 【時間】 午前9時30分～11時30分	○ふれあい広場 【曜日】 毎週水曜日 【時間】 午前10時30分～11時30分
活動内容	自由来館 毎週月曜・水曜・金曜・土曜日の午前9時30分～11時	自由来館 毎週月曜～金曜日の午前9時30分～11時30分、午後1時30分～3時	自由来館 毎週月曜・水曜・金曜・土曜日の午前9時30分～11時	自由来館 毎週月曜～金曜日の午前9時30分～11時30分、午後1時～3時	自由来館 毎週月曜～金曜日の午前9時30分～11時30分、午後1時～3時
その他	【育児相談・絵本貸し出し】 毎週月曜～金曜日の午前9時30分～午後4時	【自主サークル（わくわくキッズサークル）】 毎週金曜日の午前9時30分～11時30分	自由遊び、パネルシアター、絵本読み聞かせ、紙芝居、リトミック、子育て講座など	自由遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、運動遊び、製作遊び、子育て講座など	園外保育、リトミック、わらべ歌遊び、映画会、誕生会、子育て相談など
申込方法	申込先に備え付けの申込用紙に必要事項を記入の上、登録する支援センターに提出してください。				
申込期限	4月10日（金）	3月31日（火）	随時受け付けます		
申し込み・問い合わせ	▶米山子育て支援センター ☎ 0220 (55) 5133 ▶よねやま保育園 ☎ 0220 (55) 3790	▶中田子育て支援センター ☎ 0220 (34) 3505	▶豊里子育て支援センター ☎ 0225 (76) 4731 ☎ 090 (7070) 5256	▶津山子育て支援センター ☎ 0225 (68) 3363	▶石越子育て支援センター ☎ 0228 (34) 3110

## 国民年金だより

### 異動の時期は国民年金の届け出の時期です

年金の加入者は、職業などによって3つの種別に分かれており、20歳から60歳までの人で種別が変わる場合は、届け出が必要になります。春は、就職・転職・進学など異動の多い時期です。何かと慌ただしくなり、いろいろな届け出をつい忘れがちです。早めに届け出をしましょう。

こんなとき	変更後の種別	届出先
-------	--------	-----

◆第1号被保険者（自営業者、学生、フリーターなど）

就職して、厚生年金や共済組合に加入したとき	第2号被保険者	勤務先
第2号被保険者である配偶者の扶養に入ったとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先

◆第2号被保険者（会社員や公務員など）

退職したとき	第1号被保険者	各総合支所 市民福祉課
退職して、第2号被保険者である配偶者の扶養に入ったとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先

◆第3号被保険者（第2号被保険者である配偶者に扶養されている人）

収入が増えるなどして、扶養から外れたとき	第1号被保険者	各総合支所 市民福祉課
扶養している配偶者が65歳になったとき	第1号被保険者	各総合支所 市民福祉課
就職して、厚生年金や共済組合に加入したとき	第2号被保険者	勤務先
扶養している配偶者の加入する年金制度が変わったとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先

### 国民年金保険料の納め忘れはありませんか？

保険料の納め忘れがあると、将来受け取る年金の額が少なくなるだけでなく、全く受け取ることができなくなる場合もあります。年を取ったときの「老齢基礎年金」や、万が一のときの「障害基礎年金」、「遺族基礎年金」を受け取るためには、保険料の納付に関する条件を満たすことが必要です。

◆年金を受け取るための納付条件（概要）

老齢基礎年金	保険料納付済期間（厚生年金、共済組合に加入した期間も含む）や保険料免除期間などを合わせた期間が25年以上
障害基礎年金	次の①か②のどちらか ①保険料納付済期間や保険料免除期間などを合わせた期間が、加入期間の2/3以上 ②直近の1年間に保険料の滞納がないこと
遺族基礎年金	

納めていなかった保険料は、納付期限から2年以内であれば納めることができます。納付書を紛失した人、未納月数が多くて一括して納めるのが難しい人は、古川社会保険事務所まで連絡してください。

また、納め忘れをなくし、年金の受け取りを確実にするために、保険料の納付は「口座振替による納付」もしくは「クレジットカードによる納付」を利用してください。

【問い合わせ】

▶市民生活部国保年金課 ☎ 0220 (58) 2166

▶古川社会保険事務所国民年金業務課 ☎ 0229 (23) 1203

## 暮らしの情報

### 裁判員制度ポイント説明会参加者募集

5月から裁判員制度がスタートします。仙台地方裁判所では、候補者の人たちのみならず、県民皆さんの裁判員制度に対する関心に応えるため、「本番間近の裁判員制度 ここがポイント説明会」を開催します。

【日時】 3月18日（水）、4月12日（日）いずれも午後1時30分～3時

【場所】

仙台地方裁判所登米支部 会議室

【内容】 裁判員候補者名簿への記載通知後の手続きについて、模擬裁判の様子を上映し、「目で見て、耳で聞いて、分かる裁判」のイメージを解説、質疑応答

【募集人員】 各25人（先着順）

【申込方法】 電話

【申込先】

仙台地方裁判所登米支部 庶務課

☎ 0220 (52) 2011

【問い合わせ】

仙台地方裁判所事務局総務課

☎ 022 (222) 6111

### 社会保険相談所開設

健康保険、国民年金など社会保険全般についての相談に応じます。

【3月の開設日】 3月18日（水）

【時間】 午前9時10分～正午、午後1時～3時30分

【場所】 迫公民館

【問い合わせ】

古川社会保険事務所

☎ 0229 (23) 1203



## 里帰り先での妊婦健診費用の一部を助成します

市では、里帰り出産などに伴い、県外の医療機関で妊婦健康診査を受けた人に、その費用の一部を助成します。

**【対象者】** 市内に住所を有している人で、里帰り出産などのため、県外の医療機関で妊婦健診を受診した人

**【助成対象となる健診】** 平成21年2月1日以降の健診受診分から

**【助成限度額】**

健診時期	助成限度額
初回	18,118円
20週前後	6,298円
24週前後	7,998円
30週前後	9,658円
36週前後	7,998円

**【申請期間】**

健診受診日から6カ月以内

**【申請方法】** 居住地の総合支所市民福祉課に備え付けの申請書に必要事項を記入し押印の上、次の書類を添えて、直接提出してください。  
①助成対象健診時期に該当する未

使用の妊婦健康診査受診票（助成券）

②妊婦健康診査受診状況が記載された母子健康手帳

③医療機関が発行する領収書

**【問い合わせ】**

市民生活部健康推進課

地域保健係

☎ 0220 (58) 2116

## 軽自動車税についてのお知らせ

軽自動車税の賦課期日は4月1日です。例年、納付書を送付してから「もう車を持っていないのですが」との問い合わせを受けますが、軽自動車税は4月1日現在の納税義務者に対して課税されるため、4月1日以降に廃車の申告をしても普通車のような月割制度はなく、全額課税されます。名義変更などを行った場合は、早めに申告をお願いします。

また盗難・焼失などで車両を所有していないという場合でも、必ず廃車の申告が必要ですので、忘れずに各総合支所市民福祉課に届け出るよ

うにしてください。

**【問い合わせ】**

▶原動機付自転車・農耕車両・小型特殊自動車＝総務部税務課 市民税係

☎ 0220 (22) 2163

▶軽四輪・二輪・三輪＝軽自動車協会

☎ 022 (284) 1386

▶二輪の小型自動車（250cc～）＝宮城運輸支局

☎ 050 (5540) 2011

## 福祉灯油購入助成事業の申請は済みましたか？

福祉灯油購入助成事業の申請期限は、3月24日（火）までです。対象となる人は、忘れずに手続きをしましょう。

また、福祉灯油購入助成券の使用期限は、3月31日（火）までです。期限内にご利用ください。

**【問い合わせ】**

福祉事務所長寿介護課  
長寿社会係

☎ 0220 (58) 5551



## 今年10月から、市県民税を公的年金から特別徴収する制度が始まります

◇特別徴収（天引き）の対象となる人

個人市県民税の納税義務がある人のうち、前年中に公的年金を受給している人で、当該年度の4月1日現在65歳以上の人が対象となります。

※非課税の人や、介護保険料の特別徴収の対象でない人などは、対象になりません。

◇特別徴収の対象となる税額

公的年金所得に対する市県民税額が対象です。公的年金以外の所得もある人は、公的年金分の税額が特別徴収、その他所得の税額は、納税通知書による納付か給与からの特別徴収になります。

◇納付の方法

▶公的年金からの特別徴収を開始する年度

	納税通知書で納付		公的年金から天引き		
	6月	8月	10月	12月	2月
税額	年税額の4分の1	年税額の4分の1	年税額の6分の1	年税額の6分の1	年税額の6分の1

▶公的年金からの特別徴収を開始した年度の次年度以降

	公的年金から天引き					
	仮徴収			本徴収		
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
税額	前年度2月と同じ額	前年度2月と同じ額	前年度2月と同じ額	年税額から仮徴収した額を控除した額の3分の1	年税額から仮徴収した額を控除した額の3分の1	年税額から仮徴収した額を控除した額の3分の1

**【問い合わせ】** 総務部税務課 市民税係 ☎ 0220 (22) 2163

## 2月28日～3月8日は子ども予防接種週間です



受け忘れていた予防接種はありませんか。

母子健康手帳を確認し、まだ済んでいない予防接種がありましたら、早めに受けましょう。

■定期予防接種

予防接種の種類	対象者	接種回数	備考	
ポリオ	生後3カ月～90カ月未満	2回	間隔：41日以上	
B C G	生後6カ月未満	1回		
ジフテリア・百日せき・破傷風（2期ジフテリア・破傷風）	1期初回	生後3カ月～90カ月未満	3回 間隔：20日から56日まで	
	1期追加		1回 間隔：1期初回（3回）終了後、6カ月以上	
	2期	11歳以上13歳未満	1回	
麻しん・風しん	1期	生後12カ月～24カ月未満	1回	
	2期	小学校就学前の1年間（平成14年4月2日～15年4月1日生まれ）	1回	<b>【注意】</b> ▶2期・3期・4期の対象者は、接種期間が平成21年3月31日までとなっています。接種期間を過ぎると任意接種となり、有料となりますので、注意してください。
	3期	中学校1年生に相当する年齢の人（平成7年4月2日～8年4月1日生まれ）	1回	
	4期	高校3年生に相当する年齢の人（平成2年4月2日～3年4月1日生まれ）	1回	
日本脳炎	1期初回	生後6カ月～90カ月未満	2回 間隔：6日から28日まで	
	1期追加		1回 間隔：1期初回終了後、おおむね1年おく	
	2期	9歳以上13歳未満	1回	

※日本脳炎予防接種については、現在、積極的に受けることを勧められている予防接種ではありませんが、流行地へ渡航する場合など日本脳炎に感染するおそれが高く、特に希望する場合は定期接種として受けることができます。

◆定期予防接種に保護者が同伴できない場合は、委任状が必要となります

定期予防接種には、保護者の同伴が原則となっていますが、保護者がやむを得ない理由により同伴できない場合は、接種を受けるお子さんの健康状態を普段からよく知っている親族（祖父母など）などが同伴し、予防接種を受けることも可能です。その場合、保護者の委任状が必要となります。委任状は、各総合支所市民福祉課健康づくり係でお渡ししています。また、市ホームページからもダウンロードできます。

なお、麻しん・風しん予防接種3期・4期については、保護者の同意書（予診票の裏面にあり）があれば、保護者が同伴しなくても予防接種を受けることができます。

分からないことがあれば、気軽にお問い合わせください。

**【問い合わせ】**

市民生活部健康推進課 健康推進係 ☎ 0220 (58) 2116 または 各総合支所市民福祉課 健康づくり係

## 3月1日から7日まで「春の全国火災予防運動」が実施されます

**【防火標語】 「火のしまつ 君がしなくて 誰がする」**

これから春先にかけて、空気が乾燥して火災の発生しやすい気候になります。

尊い生命と大切な財産を守るために、火災予防に努めましょう。

**【問い合わせ】**

消防本部・消防署

☎ 0220 (22) 0119

### 住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

3つの習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>●寝たばこは、絶対にやめる。</li> <li>●ストーブの近くに燃えやすいものを置かない。</li> <li>●ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。</li> </ul>
4つの対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。</li> <li>●寝具や衣類、カーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。</li> <li>●火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。</li> <li>●お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。</li> </ul>



# 市からの お知らせ

## 住宅入居者募集

### ①市営住宅

#### ◆米山西野第一住宅10号

(米山町西野字見通3番地1)  
募集戸数 1戸(2DK)  
家賃月額 9,700円～14,500円  
駐車場 なし

#### 【募集対象者】

現に住宅に困っている世帯

#### 【入居資格】

①入居収入基準が20万円以下であること(小学校就学前の子どものいる世帯については26.8万円以下)。※収入基準の算出は、入居予定者の合計所得から世帯主以外の入居予定者一人につき38万円を控除し、12カ月で除した金額。

②同居する親族がいること(婚姻予定も可)。

※原則として単身での入居はできませんが、60歳以上の人(ただし、特例として平成18年4月1日現在で50歳以上の人も可)、身体障害者(1～4級)・精神・知的障害者の人は単身入居することができます。詳細については、お問い合わせください。

③入居者全員に市税の滞納がないこと。

④現に市営住宅に入居している人は、申し込みできません。

⑤申込者または同居予定者が暴力団員でないこと。

### ②特定公共賃貸住宅

#### ◆豊里新町特定公共賃貸住宅

(豊里町新町5番地1)  
募集戸数 1戸(3LDK)  
家賃月額 46,000円～55,000円  
駐車場 なし

#### ◆津山柳津四丁目特定公共賃貸住宅

(津山町柳津字本町67番地)  
募集戸数 1戸(1LDK)  
家賃月額 30,000円～47,000円  
駐車場 あり

#### 【入居資格】

①所得基準が20万円以上60.1万円以下であること。

※所得基準の算出は、入居予定者の合計所得から世帯主以外の入居予定者一人につき38万円を控除し、12カ月で除した金額。

②自ら居住するために住宅を必要とする人。

③同居する親族がいること(婚姻予定も可)。

④入居者全員に市税の滞納がないこと。

⑤申込者または同居予定者が暴力団員でないこと。

### ①・②共通事項

【申し込み】各総合支所地域生活課 産業建設係

【申込期限】3月16日(月)

#### 【問い合わせ】

建設部建築住宅課 住宅管理係  
☎ 0220 (34) 2316

## 歴史博物館収蔵品展 「旅情・絵葉書展 part 1」

収蔵資料と新たに寄贈された2,000枚以上の絵はがきの第1回展示会です。

県内はもちろん、大正・昭和時代の全国・世界の史跡名勝の写真や絵はがきを眺めながら、「時代への旅行」をお楽しみください。

#### 【期間】

3月3日(火)～6月21日(日)

#### 【時間】

午前9時～午後4時30分

※ただし、入館は午後4時まで

#### 【入館料】

無料

【休館日】月曜日(月曜日が休日の場合は、翌日)

#### 【問い合わせ】

歴史博物館  
☎ 0220 (21) 5411



▲戦前の「一市通り」の様子(佐沼名所絵葉書より)

## 下水道排出汚水量の 認定制度について

市では、水道水以外(井戸水など)を使用している人、醸造業・製氷業・その他の事業を営む人に対して、使用量が下水道に流す汚水量と著しく異なる場合に排出汚水量を認定して下水道使用料を決定します。

また、下記のような場合でも内容を審査して認定しますので、認定の申請をする人は「排出汚水量申告書」を提出してください。

#### ◇認定制度に該当する使用例

▶自家水(井戸水など)を使用している場合

▶牛や豚などの畜舎で使用している場合

▶年間を通して、ビニールハウスなどで野菜や花き栽培に使用している場合

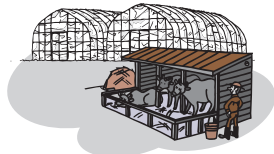
▶製造業などで製品に多量の水を使用している場合

▶育苗などで一時的に使用する場合(原則として1カ月分のみ)

【注意】昨年度、認定を受けた場合でも、再度、排出汚水量申告書の提出が必要です。

#### 【申請先・問い合わせ】

建設部下水道課 事業管理係  
☎ 0220 (34) 2359



## 3月の 多重債務110番の日

借金で悩んでいませんか。

借金問題はさまざまな方法により必ず解決できます。市の消費生活相談員が、借金・多重債務の相談に応じ、弁護士や関連部署などと連携しながら、多重債務の解消・債務整理後の生活再建を支援します。

相談料は無料で、秘密は厳守されます。

一人で悩まず、ちょっと勇気を出して、まず相談をしましょう。

【日時】▶2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)、30日(月)  
午前9時～午後8時▶15日(日)  
午前9時～午後5時

#### 【相談電話番号】

☎ 0220 (34) 2308 ※直通

#### 【問い合わせ】

産業経済部商工観光課  
商業振興係  
☎ 0220 (34) 2734



## 電話加入権を公売します

市と県では、税の滞納により差し押さえた電話加入権を公売します。

新生活などで購入をお考えの人は、気軽にご参加ください。

【日時】3月18日(水)午前10時～  
※説明がありますので、午前9時45分までにお集まりください。

【場所】市役所迫庁舎3階  
第4委員会室

#### 【公売方法】

入札  
※見積額は14,000円程度

【必要なもの】購入代金、印鑑、身分証明書、委任状(代理人の場合)

【その他】詳しくは、市ホームページをご覧ください。

#### 【問い合わせ】

▶総務部税務課 徴収対策係  
☎ 0220 (22) 2169  
▶登米県税事務所納税班  
☎ 0220 (22) 6114

## 3月の 夜間相談窓口開設日

納税に関する相談に応じます。

【日時】3月26日(木)

午後8時まで

【場所】市役所迫庁舎1階  
総務部税務課 徴収対策係

#### 【問い合わせ】

総務部税務課 徴収対策係  
☎ 0220 (22) 2169

## 消費生活出前相談

各総合支所で、消費生活上のトラブルや多重債務などの相談に応じ、解決の手伝いをします。

#### 【3月の相談日】

開催日	開催場所
2日(月)	迫総合支所
5日(木)	南方総合支所
9日(月)	登米総合支所
12日(木)	東和総合支所
16日(月)	豊里総合支所
19日(木)	米山総合支所
23日(月)	石越総合支所
26日(木)	津山総合支所

【時間】午後1時30分～4時30分

#### 【相談料】

無料  
※相談日以外は、商工観光課で消費生活相談員が応じています。

#### 【問い合わせ】

産業経済部商工観光課  
商業振興係  
☎ 0220 (34) 2734

## 迫図書館 3月のおはなし会

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。

#### 【日時】

3月7日(土)午前10時30分～

#### 【場所】

迫図書館 2階研修室

#### 【問い合わせ】

迫図書館  
☎ 0220 (22) 9820



## お知らせの 問い合わせ先

登米市役所	☎ 0220 (22) 2111
迫総合支所	☎ 0220 (22) 2213
登米総合支所	☎ 0220 (52) 2111
東和総合支所	☎ 0220 (53) 4111
中田総合支所	☎ 0220 (34) 2311
豊里総合支所	☎ 0225 (76) 4111
米山総合支所	☎ 0220 (55) 2111
石越総合支所	☎ 0228 (34) 2111
南方総合支所	☎ 0220 (58) 2111
津山総合支所	☎ 0225 (68) 3111

## 3月の納税 など

### 後期高齢者医療保険料 第9期

納期限 3月31日(火)

※年金天引きの人は含まれません。  
※口座振替の人は、通帳の残高を確認してください。

## 登米市のデータ

人口・世帯数  
(平成21年1月末現在)

地区	世帯数	人口		
		男	女	計
迫	7,239	10,542	11,261	21,803
登米	1,819	2,617	2,914	5,531
東和	2,493	3,715	3,906	7,621
中田	4,652	7,975	8,411	16,386
豊里	2,017	3,380	3,531	6,911
米山	2,856	5,080	5,395	10,475
石越	1,581	2,774	2,874	5,648
南方	2,511	4,416	4,743	9,159
津山	1,214	1,902	2,037	3,939
合計	26,382	42,401	45,072	87,473

## 編集室から

▶ついこの間、年が明けたと思っていたら、時の経つのは早いもので、もう3月です。今年の冬は暖かい日が続いたかと思っていると突然寒くなったりして、皆さんも体調管理が大変だったのではないのでしょうか。▶これからは、木々が芽吹き、春の訪れを感じられる季節となります。春の日差しを浴びながら、自然を満喫してみてもいいのではないのでしょうか。(猪股)





かん まち  
上町法印神楽 (豊里)

上町法印神楽は、豊里町稲荷神社の例大祭に奉納されてきた神楽で、県指定無形民俗文化財にもなっています。稲荷神社が現在の場所に移されたのは寛文2年(1662)と伝えられており、上町法印神楽は、旧暦の9月15日に山伏の法寿院が中心となって、開拓の竣工と豊作を祈念した例祭を行った際、奉納されたものが始まりといわれています。

法印神楽は、東北地方独特のものとして出羽三山などの各地の霊山で修行する山伏などによって伝えられてきたもので、上町法印神楽もその一つと考えられています。

もともと神楽は仏教的な信仰色の濃いものでしたが、長い年月や時代の政策などにより、神道的な形となって現在に伝わっています。

上町法印神楽は、神話などを題材に舞人が「カンナギ」というせりふを、胴取りと呼ばれる太鼓打ちが神歌を唱え、それにあわせて笛が曲調を奏でます。

現在は、毎年10月の体育の日の前日に開催されている稲荷神社の例大祭に奉納されています。

【所在地】 登米市豊里町新町10番地1  
【問い合わせ】 稲荷神社 ☎ 0225 (76) 4578

歴史博物館

広報ミニ展示室 35

＝ 小野篁歌字尽 ＝

「小野篁歌字尽」は江戸時代の「往來物」といわれる教科書の一つです。長い年月の間に何種類も出版されていますが、博物館で所有しているのは文政2年に仙台の伊勢屋半右



さまざまな漢字が歌になっています。工門から出版されたもので、寛政11年に江戸で出版されたものと内容も挿絵も似ていますが作者は不明です。題にある小野篁とは、平安時代の歌人で、三蹟といわれる書の達人小野道風の祖父にあたる人物です。この本は、部首の違う漢字を並べ覚えやすく歌にしてあり、例えば「椿・榎・楸・柗・桐」の文字は「春つばき、夏はえのきに、秋ひさき、冬はひいらぎに、同じくはきり」などと読み書きが苦手な人でも、楽しみながら学べるように工夫してあります。

登米市スポーツ講演会

講師 北京オリンピック ソフトボール  
女子日本代表 上野由岐子 選手

金メダルを取るまでの道のり



- ◎日時 3月19日(木)  
午後6時30分～  
※午後5時30分開場
- ◎場所 中田総合体育館  
※上履きをご持参ください。
- ◎入場料 無料(全席自由)  
※整理券必要
- ◎整理券 教育委員会各事務所、迫体育館、登米・中田総合体育館で、3月2日(月)から配布します(郵便では受け付けしません)。
- ◎内容 記念講演として、金メダルを取るまでの道のりを、さまざまなエピソードを交えながらお話いただきます。
- ◎問い合わせ 市教育委員会体育振興課 ☎ 0220 (34) 2649

講師 上野 由岐子 選手

【プロフィール】 上野由岐子。2004年アテネオリンピック銅メダリスト、2008年北京オリンピック金メダリスト。1982年7月2日生まれ、福岡県出身。小学3年生からソフトボールを始め、中学3年のときに全国制覇をする。九州女子高のときもエースとして国体で優勝。2年の時最年少で参加した世界ジュニア選手権で優勝に貢献。ジュニア離れた速球でオリエンタル・エクスプレスの異名を取る。2001年実業団女子ソフトボール部(ルネサステクノロジ高崎事業所)に入部。2006年の世界選手権では世界一のアメリカを封じ込めたものの惜しくも銀メダルとなる。2008年北京オリンピック準決勝のアメリカ戦、決勝進出決定戦のオーストラリア戦と2試合続けて登板。翌21日のアメリカとの決勝戦も先発して完勝勝利、2日間3試合を投げ抜き、日本の金メダルに大きく貢献。



モバイルとめ  
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス登録  
tome@entry.mail-dpt.jp (携帯用)